

東京海洋大学 海洋工学部オープンキャンパスに協力

日本船主協会では2008年7月より人材確保タスクフォースを結成し、優秀な日本人船員確保のための広報活動を展開しております。

この度、2017年11月12日(日)に東京海洋大学海洋工学部(越中島キャンパス)において、高校生とその保護者を対象としたオープンキャンパスが開催され、当協会は活動の一環として協力しました。

東京海洋大学越中島キャンパスでは、11月12日(日)に、高校生とその保護者を主対象とした今年度2回目となるオープンキャンパスが実施されました。

当協会は同学部卒業生が多く進んでいる海事クラスターの業界団体として「キャリアコンパス～将来の仕事を見てみよう～」に協力し、講演と展示ブースでの対応を行いました。

講演会では、株式会社商船三井より砂川二等航海士が、大学進学後の進路や海運産業、海技者の仕事について講演しました。

講演後は、展示ブースにて来場者と面談コーナーを開設し、来場した高校生や保護者からの質問に応えました。仕事の内容や船上の生活について、航海士・機関士として働く上で英語はどのくらい必要か、大学ではどのようなことを身につけるべきか、などの幅広い質問が寄せられました。高校生にとって将来のことを真剣に考える有意義な情報交換となりました。

当協会の人材確保タスクフォースでは、今後も優秀な日本人海技者確保に向け、関連機関と協力して幅広い活動を継続していくこととしています。



講演会会場にて講演を行う砂川二等航海士



展示ブースで対応をする砂川二等航海士(右)と
田中常務理事(左)